

No. 1426

華やかに式典

—上野動物園100周年—

開園100周年を迎えた上野動物園。

3月20日、天皇陛下を始め鈴木首相、天野総理府総務長官らの閣僚、95ヶ国の駐日大公使等1,600人が出席して記念式典が行なわれました。鈴木都知事が「動物園が国民に親しまれるようこれからも努力を重ねてゆく」と決意を表明。

続いて鈴木首相が「上野動物園が国内で指導的役割を果して来た」としてその努力をたたえた。

天皇陛下も「野生動物の減少している状況にかんがみ動物園の果す役割は今後ますます大きくなると思われます関係者の一層の努力を希望します。」と述べられた。

上野動物園は明治15年に開園以来見物客は約2億人に達し、現在の飼育動物は875種類1万1千点にのぼり年間640万人の入園者に親しまれています。式典のあと天皇陛下は園内でオオカナダヅルをご覧になりました。この鳥は陛下が50年秋訪米された際、当時のフォード大統領から「日本国民に」と贈られたつがいの子、陛下自から餌をまき、動物への愛情の深さをお示しになりました。

シーズンを前に

—国際室内陸上—

1982年国際室内陸上競技大会は3月21日代々木オリンピックプール特設競技場で行なわれた。8ヶ国から31人の外国選手が参加、各種目に熱戦を展開した。男子棒高跳びでは、日本の室内最高記録を持つ高橋卓巳が5m52の新記録を狙うも失敗。アメリカのトム・ヒントナウスが5m40で優勝。女子走高跳びは中国の鄧と日本の八木との優勝争いになったが調整途上の日本勢を尻目に1m89を跳んだ鄧の力強いジャンプが目立った。注目の男子3000mには3ヶ国8人の選手が出場。タンザニアのスレイマン・ニアニブイがアメリカのラリー・ローソンを胸一つ抑えて優勝。外人勢の強さを示した大会だった。

ザ・ロボット博

—三重・長島町—

3月20日から三重県長島町ナガシマスパーランドで開かれている「ザ・ロボット博」は、家族連れてにぎわっています。会場には古いロボットから最新のエレクトロニクスを応用したものまで紹介されています。メカニカルなロボットはウナギ・カニなど小動物そっくりの動きをします。子供達に人気のマイクロマウス。256の区画の迷路を脱出しその時間を競うものです。応用分野として医療にもロボットを導入する研究が始まっています。重度障害者の介助用ロボット「腕ロボット」はこれから医療の世界で活躍することでしょう。